



南アルプス市議会議員／防災士

桜田ちから

2021年
秋号

議員活動報告

Vol. 05

新型コロナウイルス感染症の拡大が、このところ急激に収まりを見せており、県内の感染者数もゼロの日が続いています。南アルプス市におけるワクチン接種対象者の2回目接種率は85.5%（11/15現在）に達しておりますが、冬の到来を目前に再び感染拡大を生じないよう日頃から予防に努めてまいりましょう。

感染症の拡大により、人と人とのつながりの希薄化が生じましたが、一方で、日常的な感染防止対策が浸透し、さらに、テクノロジーを活用したテレワークやオンライン会議の進展により、新たな仕事のやり方や繋がりが生まれるなど、

コロナ禍における新しい価値への「気づき」もあります。これからの時代は、こうした「気づき」などを活かして、社会的課題の解決や新たな価値の創出が期待される製品やサービスをいち早く社会実装していくことが重要となっていくのではないかでしょうか。

一人の人間として、また議会人として、これらの生き方やまちづくりのあり方を、皆様とともに考えていきたいと思っております。

桜田ちから



Sakurada Chikara

議会活動



昨年11月の市議選で多くの皆様のご支援をいただきました。そして、2期目を機に私は、南アルプス市と市議会に「新しい風」を吹き込み「健全な財政を維持し、市民が豊かで快適な生活を営み、住んでよかったと実感できる街づくり」を目指す政策集団、会派「南風」を設立しました。

私は、①開かれた議会を目指して議会改革と取

り組みながら地方議員としての責任をしっかりと果たすこと②多発する自然災害や感染症の蔓延を強く意識した防災・減災活動の強化を推進すること③人口減少、超高齢化など私たちが直面している課題に対し、それぞれの地域が特徴を活かした持続的な地域づくりを目指すための方向性を示すことを2期目のテーマに掲げて活動しております。

2020年12月 第4回定例会 代表質問

- 高尾地区への堆肥化施設建設設計画の許認可に対する県と市の対応状況は、また、隣接する3自治会より市に対し計画に反対する旨の陳情書が提出されているが、市は地域住民の想いにどう応えるのか。
- 主権者教育を生涯学習の一つと位置付けて、地域・学校・行政・議会が協働して取り組む必要性を強く感じているが、市の見解は。

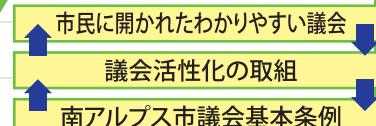
2021年3月 第1回定例会 代表質問

- 第1次南アルプス市環境基本計画の環境指標の令和元年度の達成率は33%である。最終年度も大幅目標未達が推定されるが、この状況をどのように捉えているか。また、第2次南アルプス市環境基本計画で目指すCO₂排出量削減の具体策は。
- 地球の温暖化対策や災害時の地域電力の確保に小水力発電の導入が有効である。櫛形西地区の急峻な地形と豊かな水資源、早川芦安連絡道路のトンネル工事で出水の可能性が高いとされる豊富な湧水を利用した水力発電事業の研究を提案するが、市の見解は。

南アルプス市議会は 今…

「わかりやすく、開かれた」そして、「市民とともに歩む」議会を実現するため、今年6月に議会改革検討委員会を設置し、分科会1班は「議会の見える化」を、2班は「事業評価・政策提言」をテーマに協議、検討を進めています。私は、2班に所属し、現在「事業評価のあり方」を検討しています。また、ペーパーレス議会を実現するための特別班にも所属し、タブレット導入の検討を進めています。

議会改革検討委員会では、議会の役割と責務を明らかにして「市民の皆様と議会の約束」として定める「議会基本条例」の制定を目指しています。



2021年6月 第2回定例会 代表質問

- 南アルプス12ha（旧完熟農園跡地）への参入企業公募開始を「秋頃から行う」との方針が今定例会に示されたが、公募開始の決断の根拠、現時点での企業動向、公募開始から企業選定までの流れは。
- 南アルプスインターチェンジ周辺整備事業の推進にあたり、令和2年度に実施した用地現況及び開発可能性調査の実績と今後の事業の進め方は。
- 「学校における働き方改革」の視点とこれまでの取り組みの実効性の検証状況は。
- 留守番電話の導入が教職員の長時間勤務の抑制に効果があるとの検証結果があり、県内では既に上野原市が導入している。先進例を調査し導入を検討すべきではないか。

2021年9月 第3回定例会 一般質問

- 災害対策基本法の改正により、避難勧告が廃止され避難指示に一本化された。市は、避難指示をどのように発令し早めの避難を促すのか。また、感染症対策を意識した本市の避難所体制の構築状況は。
 - 指定避難所への設置が進められている防災倉庫と備蓄品の日常管理と有事の際の運用方法を市は対象自治会等にどのように周知しているのか。
 - 本市における通学路の安全点検の実施状況とその結果は。
- 請願 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実現、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るために請願の紹介議員として活動。



南アルプス市議会

代表・一般質問のインターネット放送
(YouTube配信)

議員活動

✓ 堆肥化施設の建設に反対しています



伊奈ヶ湖

穂見神社

建設予定地付近

南アルプスエコパークの緩衝地域に隣接する高尾地区に

堆肥化施設を建設する計画に、私は地元、櫛形西地区、北地区の皆様と共に反対しています。

山梨、長野、静岡の3県、10市町村が結束して南アルプスの生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶとともに地域特有の歴史・伝統及び文化を子どもたちに継承し、夢と希望に満ちた魅力ある地域づくりに共同で取り組んでいる南アルプスエコパークに、市外や県外から食品産業廃棄物を持ち込むことは、ユネスコエコパークの理念と本市のイメージを著しく損なうと

ともに地元住民の日常生活へさまざまな悪影響を及ぼすからです。

6月定例会に、櫛形西地区自治会長会（平岡・あやめが丘・上市之瀬・中野・上野・下市之瀬）と上宮地自治会の連名で上程された請願の採択と許認可権限のある山梨県への意見書提出を目指して紹介議員として活動しました。

全会一致で採択された南アルプス市民と市議会の想いを県が受け入れてくれることに強く期待しています。

✓ 百歳体操をはじめました

下市之瀬ラヴィの会では、映画会、落語会、コンサートなどのイベントを開催してきましたが、10月から（毎週月曜日）百歳体操をはじめました。現在19名の皆様に参加していただきており、「体操も頑張りたいが、地域の皆さんと顔をあわせて話ができるのが楽しい。月曜日になるのが楽しみ」との声

をいただいております。取り組みを工夫し、地域の皆さんの居場所づくりにしたいと考えております。



✓ 農業・農村環境保全活動が地域に定着

2017年第3回定例会での代表質問を機に中山間地域に「多面的機能支払交付金制度」が適用され、農業・農村環境保全活動がスタートし3年目を迎えるました。活動を推進する役員の皆様の熱意が地域の皆さんの意識を押し上げて、活動は順調に進んでいます。

活動の一環として「下市之瀬 花を育てる会」が8月に種蒔きしたコスモスの花が満開になり、大勢の人々が訪れてくれました。



✓ 漆川の浚渫工事が行われました

漆川の河川内に堆積した土砂と雑木、対岸（平岡地区内）の農地から伸びた雑木や竹などを撤去する作業を市と県に要請してきました。

今回、工事が行われた区域は予算の関係もあり、数年前に大雨で流木等が堆積し田んぼが冠水する被害が出たエリアから上流域となりましたが、下流域についても同様な状態が確認されていますので、工事区域の延長を今後も要請していきます。

大雨や台風など自然災害が国内で多発している状況下で、漆川のような

状態を一刻も早く改善することはたいへん重要です。下市之瀬区、平岡区の地権者の皆様と市及び県の関係者の皆様のご協力により早期に工事が行われることになりました。



漆川浚渫工事前

漆川浚渫工事后

が行われました。心より感謝申し上げます。

防災活動

防災ひと言通信

下市之瀬区内

隔月発行

ホームページで公開中!!

✓ 南アルプス市防災リーダー連絡協議会機関紙 「レジリエント南プス」創刊第1号発行

市防災リーダー連絡協議会の新事業として「機関紙」を発行することを決め、7月13日に創刊第1号を発行しました。

防災リーダー連絡協議会や各自主防災会等の活動の紹介や防災・減災の啓発記事などを掲載し、市民の皆様の防災意識の高揚と地域防災力を

向上を目指す

考えです。

年2回発行し、市内の各自治会では回覧により、また、市役所関連施設内に設置するなどして広報を行います。

レジリエント南プス

新型コロナウイルス感染症の影響で私たちには「新しい生活様式」を取り入れるなど、大きな変革の中にいます。そのうちの中でも災害はいつどこで起こるかわかりません。日々の暮らしや防災活動においても、防災リーダー連絡協議会と連携して「防災に役立つ情報」をお届けすることにいたしました。

1. 「防災リーダー連絡協議会」って、どんな団体なの?

地域防災力の強化を目標として、市は平成23年からいるもののリーダーを務めています。

その構成員の数は現在から「防災組織を更に強めて、自分のための地域の防災力を強化していく」とういう事が並び、平成30年5月に結成されました。現在103団体が会員となっています。

2. 田舎を始めます。

田舎を始めます。

3. どんな活動をしているの?

今年度は、避難訓練、防災会、災交換会、災害復旧作業、災害調査、災害対応ガイドの防災スクールなどを実施しています。

シリーズ防災・減災 No.1

豪雨災害などの時に、市町村が主に用いて育むする避難情報(レーベル3)が作成されました。日々から、情報を収集しておるとともに、ご近所同士、声を掛け合い、情報収集に協力しましょう。

3. どんな活動をしているの?

今年度は、避難訓練、防災会、災交換会、災害復旧作業、災害調査、災害対応ガイドの防災スクールなどを実施しています。

シリーズ防災・減災 No.1

豪雨災害などの時に、市町村が主に用いて育むする避難情報(レーベル3)が作成されました。日々から、情報を収集しておるとともに、ご近所同士、声を掛け合い、情報収集に協力しましょう。

登録レベル	避難の情報	私たちがこなすべき行動
5	基礎安全確保	命を守るために行動をとる
4	避難訓練	危険な場所から安全避難する
3	調査者派遣	災害調査の実施する
2	大震・豪雨災害	自らの避難行動を認める
1	(未登録)	避難地に注ぎ込む心地を味わう

✓ 南アルプス市防災リーダー連絡協議会主催 「夏休み子ども防災スクール」の開催

昨年、コロナ禍で開催できなかった「夏休み子ども防災スクール」を開催しました。

8月2日より、市内全学童施設（15箇所）での開催を計画しておりましたが、8月6日にコロナウイルス感染症拡大に伴う市からの中止要請を受けて、8箇所（受講児童数：314名）での開催を以て終了しました。

感染予防のため、映像を使った座学を中心の勉強会となりましたが、協議会メンバーが、指導方法をいろいろ工夫して取り組み、児童の皆さんに



防災スクール



連絡協議会の様子

楽しみながら防災について学んでもらうことができたのではないかを感じています。

今後も、このような取り組みを市防災リーダー連絡協議会のメイン事業と位置付けて実施していきたいと考えております。